

にこにこ通心

平成29年5月

vol. 79

勝裕章 



富山に住んで24年
今年こそアルペンルート
の雪の壁を見に
行きたい...
と思う今日のこの

恩意識を高めること

先日、とっても有難いお話を聞く機会がありました。
人は互いに支え合って生き生かされている、というお話。
1日といえども、他の人々や物の恩恵を受けないことはできません。
自覚しているしていないに関わらず、私達は「恩の大海」の中に生かされているのです。

今、あなたの目の前には何がありますか？
僕の前には、ボールペン、ノートPC、名刺、クリアファイル、財布、電卓...ひとつでも欠けていたら僕は困ります。
世の中にあるものはすべて、過去の先輩達があきらめなかった結果、今こうして開拓したものとして存在しているものばかりです。

このように考えると、両親、ひいてはご先祖様に対する恩こそが最大級である、ということになります。
このお話を聞いた日の午後、ご先祖様に手を合わせたくなり、妻を誘ってお墓参りに行ってきました。

ご先祖様はどのくらいの数になると思いますか？

10代遡ると2046人、20代遡ると2097,160人になるとです。

このご先祖様達のひとりでも欠けていたら、自分はこの世に存在しなかったという事実。

そう考えると、自分が生まれてきたこと自体が奇跡にほかなりません。

生きてると時に苦しいこと、辛いこと、逃げだしたくなる場合があります。ご先祖様にもあつたはず。

空腹に耐え、何回もの戦を経験し、それでも決して生きることをあきらめなかったご先祖様。

幾多の苦難を乗り越えてきた結果、今の僕達が存在します。

苦しい時もひとりじゃない。200万人のご先祖様が自分を見護ってくれている、と思うとなせだか安心できました。

ところが途中にいるとなかなかそうは思えません。視野が狭くなるんですかね〜；

それでも歴代のご先祖様はたぶん天国でこう言ってるんじゃないかな〜

僕が受けとったメッセージはこれです。

今どなたに苦しいかも...
今どなたに辛いかも...
今どなたに逃げ出したかも...



そんなに心配いなくても大丈夫！
分かっていることがひとつだけあるんだ。
それはね、最後はなんとかなるってこと。

ご先祖様一同おつ

The trial version converts only 1 page. Evaluation only.

Converted by First PDF.

(Licensed version doesn't display this notice and converts the whole PDF document!)

[Click to get the license for First PDF.](#)